



DiagramFilter Features Guide

by SparxSystems Japan

Enterprise Architect 日本語版

ダイアグラムフィルタ 機能ガイド

(2018/05/16 最終更新)



1. はじめに

ここでは、**Enterprise Architect** で利用可能な機能のうちの一つである、ダイアグラムフィルタ機能について、具体的に説明していきます。**Enterprise Architect** を使ったダイアグラムフィルタの作成方法を紹介しています。ダイアグラムフィルタを使うことで、ダイアグラムの表示形式の調整や効果的な比較が可能になります。

ダイアグラムフィルタ機能は、作者・状態・ステレオタイプ・バージョンなど選択したプロパティを基に、ダイアグラム内の要素を強調表示します。特に、現状の設計と将来の設計を比較するのに、ダイアグラムフィルタは理想的です。例えば、指定した日以降に変更したダイアグラム内の要素のみを可視化することができます。

このドキュメントは、**Enterprise Architect 14.0** ビルド 1418 の表示内容に基づいて作成されています。それ以前のバージョン・ビルドの場合には、表示内容・結果が異なる箇所や利用できない機能があります。

2. ダイアグラムフィルタの概要

ダイアグラムフィルタを使うと、ダイアグラムの調整や効果的な比較を行うことができます。例えば、プロジェクトの異なるフェーズを比較する場合、**Enterprise Architect** のダイアグラムフィルタを利用することで、指定したフェーズの要素のみを表示・比較することができます。このドキュメントでは、**Enterprise Architect** の サンプルプロジェクトを使用して、ダイアグラムフィルタの作成方法を紹介します。

このドキュメントでは、次の方法を学びます。

- ✓ ダイアグラムフィルタを作成、適用し、ダイアグラムを強調表示して比較
- ✓ ダイアグラムフィルタを利用して、特定プロジェクトの異なるフェーズを比較

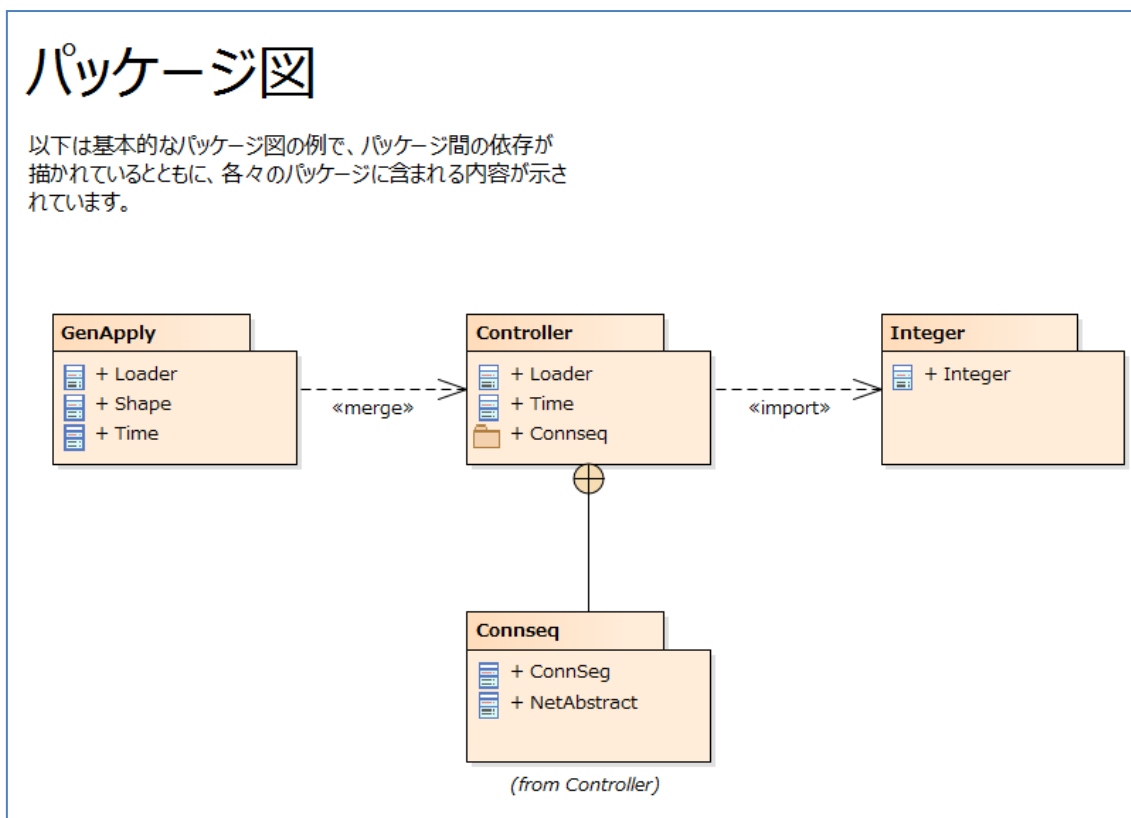
また、このドキュメントの機能を活用すると、例えば下記のような場面で役に立ちます。

- ✓ ダイアグラムの表示内容を利害関係者ごとに調整
- ✓ 「現状」と「将来」の設計を比較
- ✓ ダイアグラム要素を素早く識別し、効果的に比較
- ✓ 特定の人に変更したダイアグラムを強調表示

3. ダイアグラムフィルタの作成

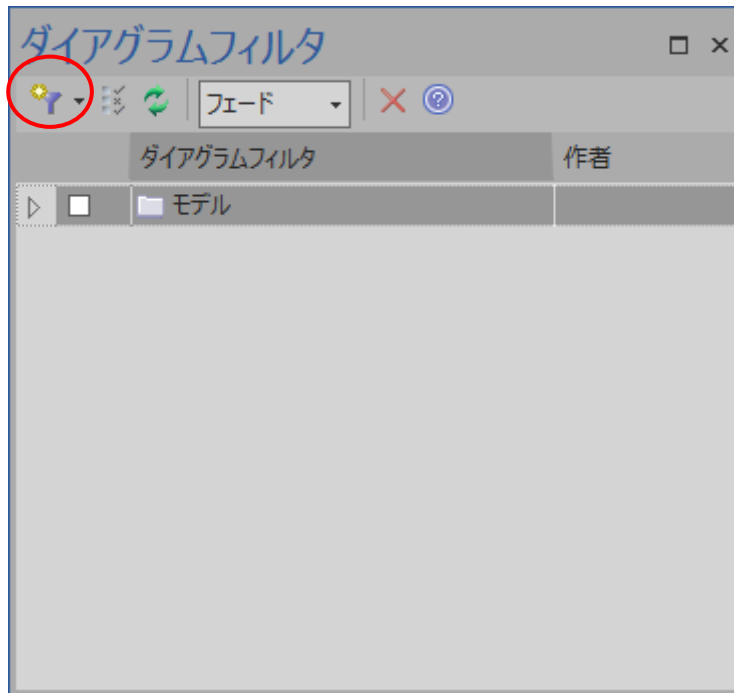
まず、サンプルプロジェクトの **EASample.eap** を利用して、機能を試してみます。

1. **Enterprise Architect** の サンプルプロジェクトを開きます。「ホーム」リボン内の「ヘルプ」パネルにある「ヘルプ」ボタンを押して「サンプルプロジェクトを開く」を選択すると、開くことができます。
2. 自動的に表示されるダイアグラム内のリンクを「基本的なモデリング」→「パッケージ図」→「パッケージの依存関係」と遷移して、以下のダイアグラムを表示します。

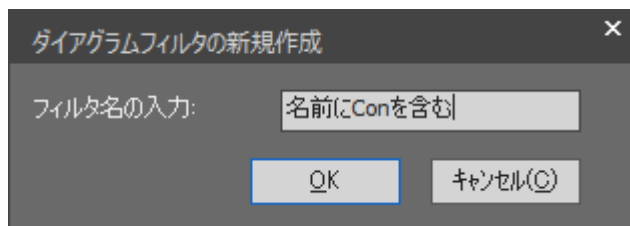


これが対象のダイアグラムです。このダイアグラムを対象にフィルタ機能を試します。

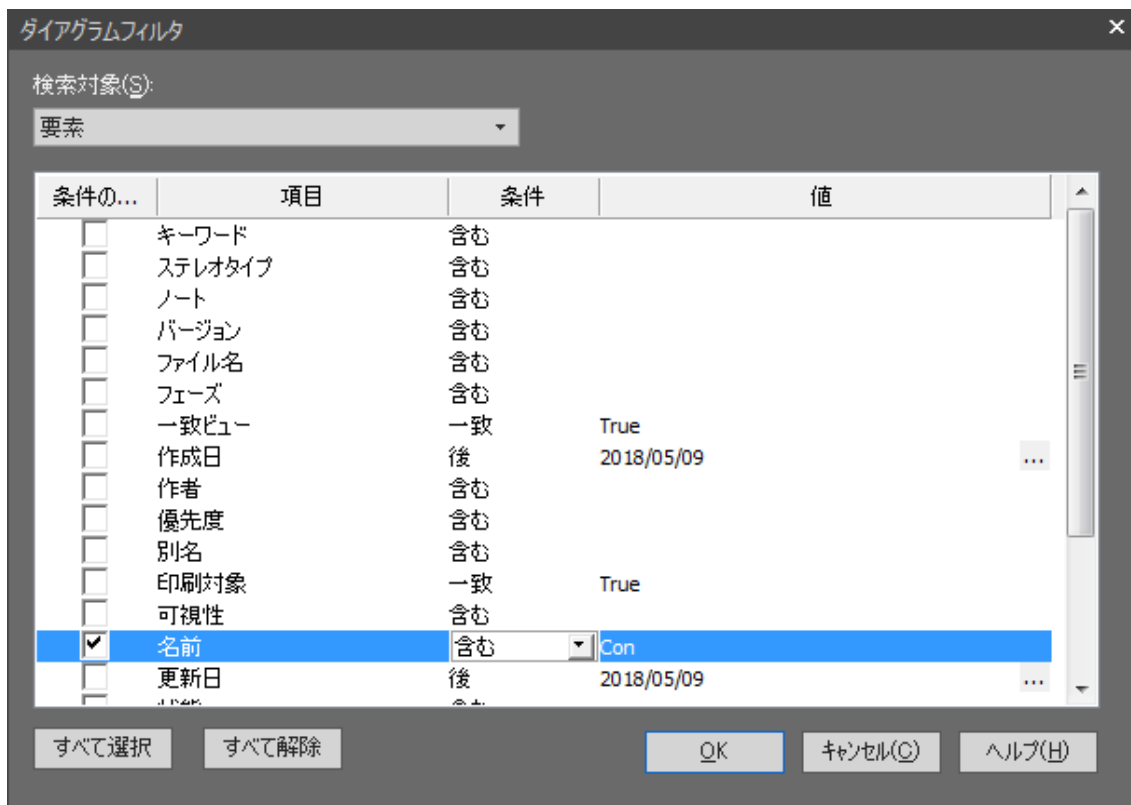
3. 「ダイアグラム」リボン内の「ツール」パネルにある「フィルタ」ボタンを押して「ダイアグラムフィルタ」を選択し、ダイアグラムフィルタサブウィンドウを表示します。ツールバーの最初（左端）のアイコンを選びます。



4. 「名前に Con を含む」という名前のダイアグラムフィルタを新規作成する

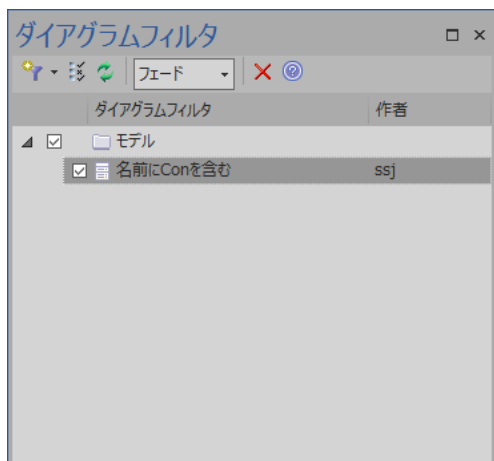


5. 「名前」フィールドで検索するため、名前の欄の横のチェックボックスを選択します。

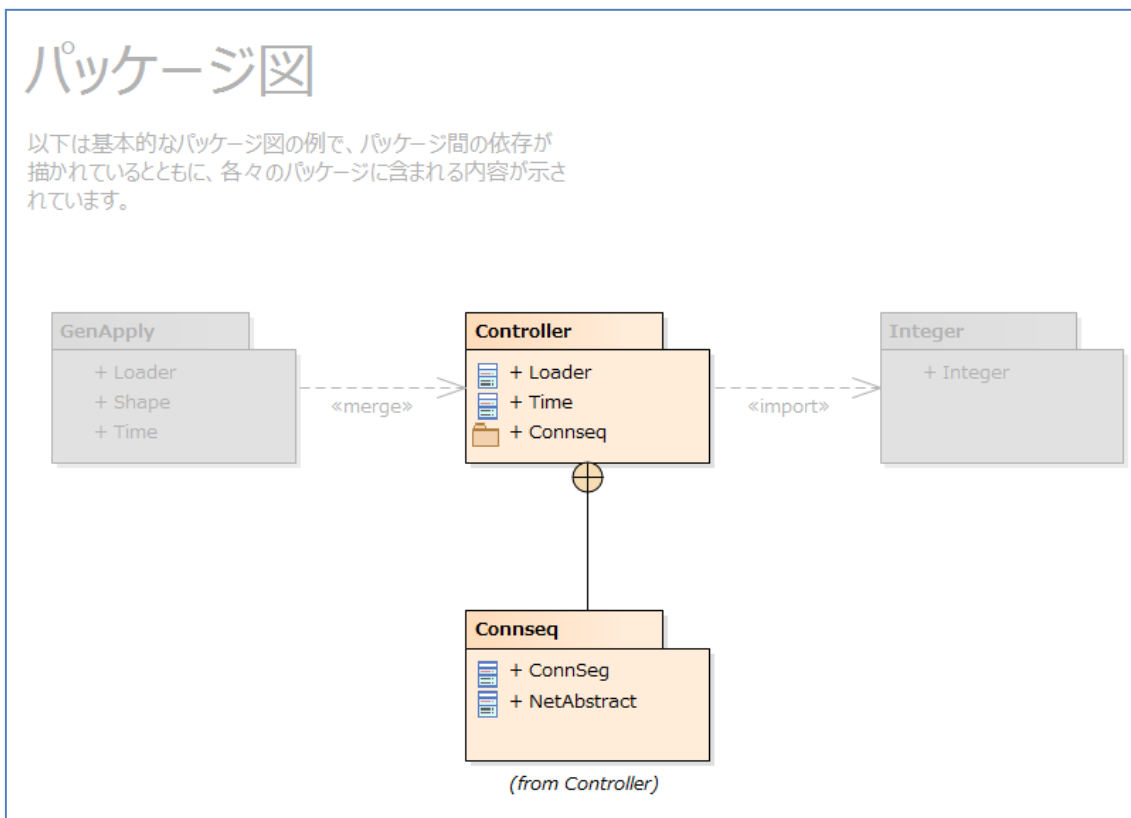


これにより、名前の属性でダイアグラムをフィルタすることができます。

- 「条件」のドロップダウンリストは「含む」のままとして、値の欄には「Con」と設定します。その後、OK ボタンをクリックします。
- 作成したフィルタをかけるため、チェックボックスにチェックを入れます。



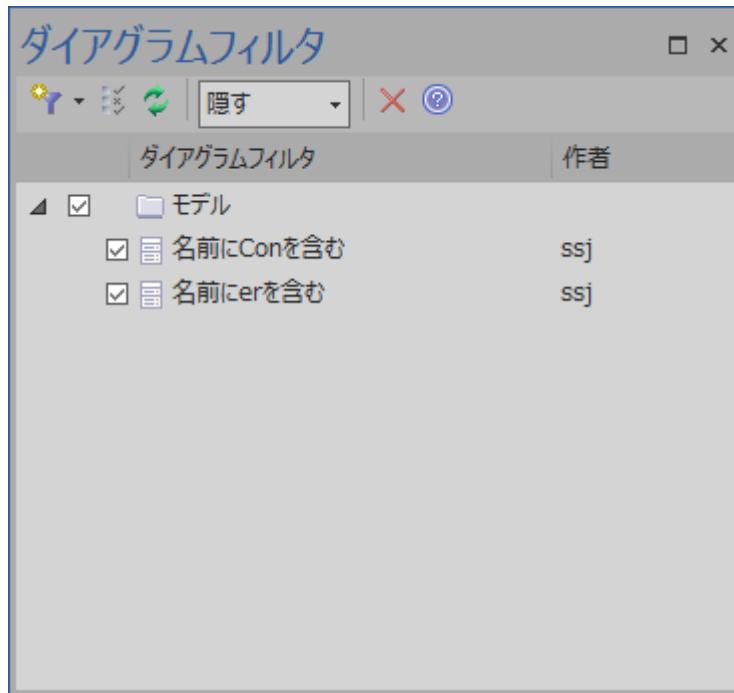
- フィルタを実行した結果は下記のようにになります。ダイアグラム上にはっきりと表示されたパッケージは、名前に「Con」の文字列が含まれています。



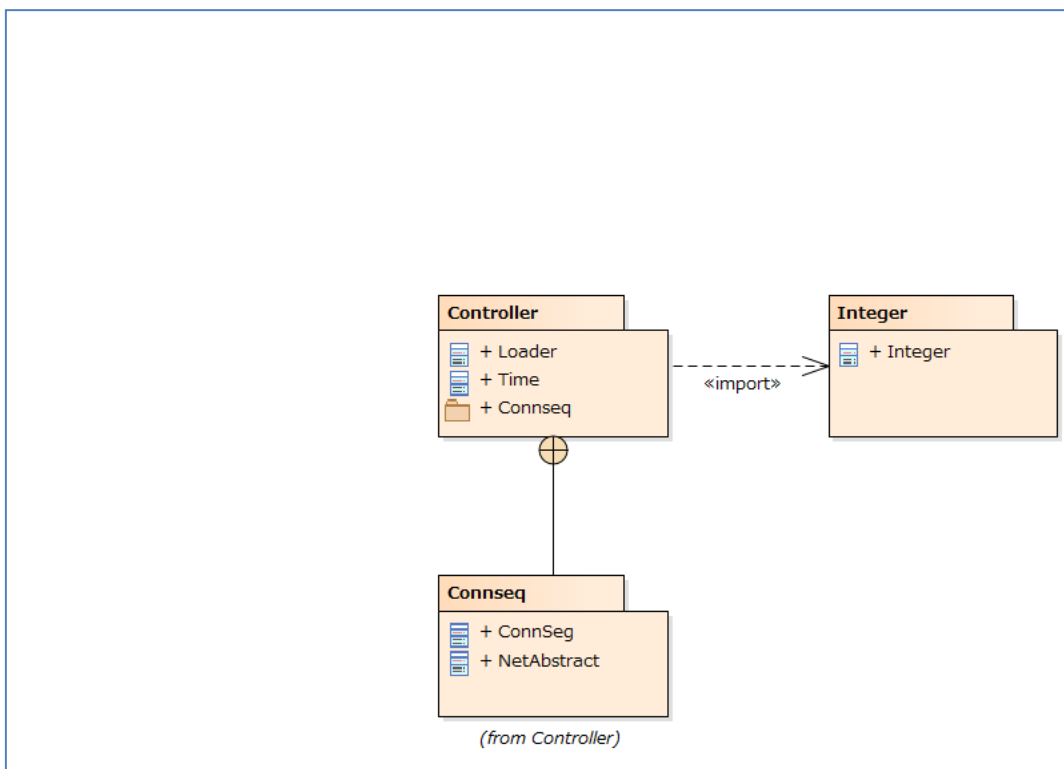
4. 複数のダイアグラムフィルタの適用

Enterprise Architect で一度に複数のダイアグラムフィルタを作成し、利用することができます。

1. 先ほどと同じ手順で「名前に er を含む」という名前のダイアグラムフィルタを新規作成します。
2. 「名前」フィールドで検索するため、名前の横にあるチェックボックスを選択します。値には「er」と設定します。その後、OK ボタンをクリックします。
3. 両方のダイアグラムフィルタを有効にし、ドロップダウンリストから「隠す」を選択します。



いずれかの条件を満たすパッケージのみが表示されたことが確認できます。効果が「隠す」の場合には、他のすべてのダイアグラム要素は除外され、関係のある要素だけを表示することができます。

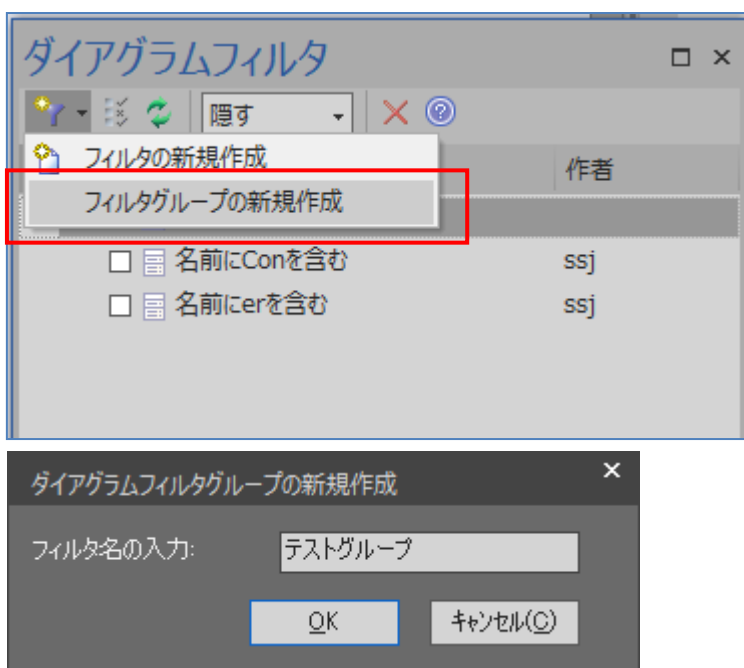


- 適用したフィルタのチェックをすべて外すことで、ダイアグラムを再度元の状態で表示されるように戻すこともできます。

5. グループの定義とANDフィルタの作成

第4章の例のように、複数のフィルタを作成して有効にする場合には、OR、つまり少なくとも1つのフィルタの条件が有効であれば表示対象となります。複数のフィルタの全ての条件を満たすもののみを表示するためには、「グループ」を定義しなければなりません。

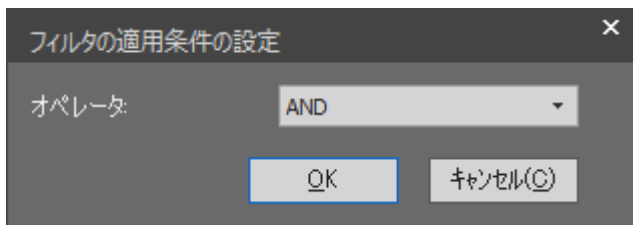
グループを定義するには、サブウィンドウ内のツールバーの左端のボタンから表示できるメニューで「フィルタグループの新規作成」を選択します。



グループを作成すると、続けてフィルタを作成する画面が表示されます。フィルタを定義してもよいですし、キャンセルボタンを押してグループのみを作成することができます。

新しく作成したグループには、既存のフィルタをコピーしたり移動したりすることができます。サブウィンドウ内の一覧で対象のフィルタを右クリックすると表示されるメニューで「コピー」あるいは「切り取り」を実行後、グループを右クリックして「貼り付け」を実行してください。

作成したグループをダブルクリックすると条件を指定することができます。ここで、「AND」を指定することで、複数のフィルタのすべての条件を満たす要素のみを表示させることができます。



7. 簡易フィルタ

「ダイアグラム」リボン内には、簡単にフィルタ機能を使うことのできる便利なパネルがあります。



このパネルからは条件は 1 つのみしか指定できませんが、フィルタを定義することなくダイアグラムにフィルタを適用できますので、便利です。

8. まとめ

ダイアグラムフィルタの機能の概要を紹介するのが、このドキュメントの目的です。ダイアグラムフィルタから提供される情報は実に効果的で、プロジェクトのフェーズ比較に活用することができます。これは「現状」の設計と「将来」の設計を比較するのに大変理想的な方法です。また、指定した日の後に行われたダイアグラムの変更を素早く確認することや、特定の状態や優先度の項目を強調表示することも可能です。

このダイアグラムフィルタの機能をぜひご活用ください。